

方面	上田総監 着任	(1面)
1師団	堺師団長 着任	(2面)
12旅団	柳旅団長 着任	(3面)
1施設団	団英語特技者等集合訓練	(4面)
関東補処	最先任上級曹長交代行事	(4面)
東混団	朝霞市民まつり彩夏祭に参加	(5面)

# 上田陸将 第44代総監に着任

## 第44代 東部方面総監

陸将 上田 和幹

生年月日 昭和44年3月14日  
出身地 鹿児島県  
学歴 防衛大学校(第35期)  
主要経歴  
平成21年 相浦駐屯地業務隊長 (相浦)  
平成26年 第2後方支援連隊長 (旭川)  
平成27年 陸上幕僚監部防衛部  
情報通信・研究課長 (市ヶ谷)  
平成28年 北部方面総監部幕僚副長 (札幌)  
平成30年 需品学校長兼松戸駐屯地司令 (松戸)  
令和2年 北部方面総監部幕僚長 (札幌)  
令和3年 陸上幕僚監部装備計画部長 (市ヶ谷)  
令和5年 陸上総隊司令部幕僚長 (朝霞)  
令和6年 陸上幕僚副長 (市ヶ谷)



着任式に臨む上田総監

第44代東部方面総監に上田和幹陸将が8月1日付で陸上幕僚副長から着任した。

8月1日、初登庁した上田総監は慰霊碑参拝の後、自衛隊体育学校体育館で儀礼を受け、その後、自衛隊体育学校体育館において着任式に臨んだ。

「東部方面隊は我が国の政治・経済の中枢を含む地域を担い、国家の存亡を託された方面隊である」とも、この間にも過言ではない。このため、良き伝統を継承しつつ、変化に即応し、進化し続けながら方面隊全体としての作戦遂行能力を向上させなければならぬと述べた。

## 総監 着任の辞

首都圏を含む一都十県の防衛警備等に任ずる東部方面隊を指揮統率することは、身に余る光栄であると同時に、その職責の重大さに身の引き締まる思いである。

また、国内においては、異常気象による甚大な自然災害や首都直下地震、南海トラフ地震などの大規模災害の発生についても予断を許さない状況である。

更に、東部方面隊としてのみならず、自衛隊全体の任務遂行のため、人的・物的基盤の維持・増進、更に地域・関係諸機関等との連携強化による作戦基盤を整備することが必要である。この方面隊全体の作戦遂行能力の向上と、作戦基盤の充実により、いついかなる事態にも即応し任務を完遂する。

また、統率方針を具現化するため、「一隅を照らせ」を全隊員に要望する。「一隅」とは「今、自分がいる場所」であり、「おかれたい立場」である。一人ひとりの隊員が自ら「強靱な東部方面隊を創り上げる」ことができると信じている。

以上、着任にあたり所信の一端を述べたが、私自身任務遂行に全力を尽くすことを誓い着任の辞とする。

令和七年八月一日  
東部方面総監  
陸将 上田 和幹

### 方面総監部幕僚長に 坂田将補が着任

総監部は8月1日、朝霞駐屯地において転入者から坂田陸将補が東部方面総監部幕僚長として着任した。

このたびの異動で、防衛研究副所長に

着任の挨拶をする坂田幕僚長

### 東部方面総監部幕僚長 陸将補 坂田 裕樹

生年月日 昭和47年10月27日  
出身地 鹿児島県  
学歴 防衛大学校(第39期)

### 富崎前幕僚長 防衛研究所副所長へ

総監部は7月30日、朝霞駐屯地において見送りを受け総監部を後にし、防衛研究所(市ヶ谷)副所長へ栄転した。

盛大な見送りを受ける富崎前幕僚長

### 富樫前総監勇退へ

富樫前総監は令和5年3月30日、第43代東部方面総監として着任以来「強靱な東部方面隊の創造」を統率方針として掲げ、「万事作戦を基準」を要望した。

離任の辞において「本当に自衛官になって良かったと思ってる」と述べ、隊員に対して感謝の気持ちと激励、期待を込めたメッセージを残し、駐屯地を後にした。

盛大な見送りを受ける富樫前総監

### 荒井陸幕長初度視察を受察 東部方面隊の現況を報告

方面隊は9月12日、朝霞駐屯地において陸上幕僚長(荒井陸将)の初度視察を受察した。

陸上幕僚長は総監部へ到着後、儀礼を受けた後、総監部庁舎へ移動し状況報告を受けた。続く施設等巡視においては指令センターの状況等を視察するとともに、任務に当たる隊員を激励した。最後に将官部隊長及び総監と懇談し、朝霞駐屯地を後にした。

儀礼を受ける荒井陸上幕僚長





第12旅団

第14代旅団長に柳将補着任  
統率方針「隙なく備え、任務を完遂せよ」  
要望事項「信頼」「安全」

要望事項 「信頼」「安全」



儀じよう隊の巡閱



隊員に見送られる前島前旅団長

前島旅団長の交代に伴う離任行事が7月31日、相馬原駐屯地で執り行われた。前旅団長は令和5年3月31日着任し、2年4か月にわたる旅団を率いてきた。離任行事において「旅団は、空中機動力を強化され広域に渡る地域で様々な任務を遂行することを期待されている唯一



献花を行う旅団長

第14代第12旅団長に柳裕樹(やなぎひろき)陸将補が8月1日付で陸上幕僚監部人事教育部長(市ヶ谷)から着任した。相馬原駐屯地に初登庁した旅団長は、副旅団長ほか各部隊長の出迎えを受け、慰霊碑で献花を行



着任の辞を述べる旅団長

「隙なく備え任務を完遂せよ」とは隙なく備えろということでは、抑止するということであり、我が国を守るため、すべての隊務において、その対処方を向上させ、相手にその



狙いを定めて一撃必中

無二の部隊であり、その期待に答えられるだけの實力を有した部隊、隊員であり指揮を取れたことを誇りに思っている。感謝と敬意を表する」と隷下部隊を前に述べた。真夏の空の下、盛大に見送られて駐屯地を後にした前旅団長は8月1日付で陸将に昇任し、第4師団長(福岡)として栄転した。

12ヘリ 佐多射場でドアガン射撃 射撃練度の向上を図る 第12ヘリコプター隊は7月15日から25日までの間、鹿児島県佐多射場において令和7年度多用途ヘリコプターからの機関銃射撃訓練(ドアガン射撃訓練)及び長距離機動訓練を実施し、射手の養成及び射撃練度の向上を図った。

「隙なく備え任務を完遂せよ」とは隙なく備えろということでは、抑止するということであり、我が国を守るため、すべての隊務において、その対処方を向上させ、相手にその気を起こさせない状況を作ることが抑止力であり、この隙を見せないことが非常に重要な任務であるということである。要望事項の「信頼」と「安全」について、1点目の「信頼」は隊員相互の信頼、地域との信頼及び家族との信頼の3つの関係を強固に構築することであり、この3つの信頼関係の構築は任務達成に必要不可欠ということであり、2点目の「安全」は、危険を伴う訓練・任務を安全に遂行できること及び隊務において心理的安全性を確保することであり組織としてより能力を向上するため、隊員個々がそれぞれの使命とその責任を自覚し、自主自律した能動的な態勢を構築することが任務達成に必要不可欠ということである。

各駐屯地でサマキャン実施 地域住民との交流を図る



協力会と合同での自衛官募集(新発田)



松本ぼんぼん踊り(松本)



盆踊りで紹介される新隊員(相馬原)



ホイストによる患者搭載

各部隊の衛生能力を向上 猛暑日での衛生合同訓練



意気込みを見せる隊員(新町)



大人気の体験搭乗(高田)



旅団管内の各駐屯地は7月1日から8月31日にかけて、サマー・フレンドシップキャンペーンを実施し地域住民との交流により、自衛隊や駐屯地に対する理解と信頼を深めた。

旅団は7月22日から25日までの間、相馬原演習場において第12後方支援隊長を担任官とし、令和7年度旅団衛生合同訓練を実施した。この訓練は旅団各部隊から集まった衛生科隊員を対象とし、基礎的技術や知識の教育を実施することを目的とし、連隊収容所における治療及び後送間救護、災害派遣を見据えた航空機への患者救護について演練した。連隊収容所の訓練では、限定的初期外科手術、術前、術後の患者管理を

実施し、医官の配属と収容所における治療業務などを演練するとともに、後送間救護として、収容所から航空機搭載場所まで術後の患者に対しての車内救護を実施した。UH-60の実機を使った患者搭載・卸下、機内救護の訓練では、ローター音により号令が聞き取りづらい状況で行うなど、実践的な環境で実施した。猛暑日であったが暑さを感じさせない迅速確実な処置が施され、衛生救護訓練の練度向上が図られた。

第1施設団

# 団英語訓練を実施

## 国際舞台で活躍する隊員を育成

施設団は7月1日・2日の両日、座間駐屯地において令和7年度団英語特任者等集合訓練を実施した。

本訓練の目的は参加した隊員の英語能力を向上させることにより、部隊の英語によるコミュニケーション能力を向上させ、同盟国等との相互運用性の向上に資することにある。



米司令官に対する表敬時の通訳



1日目はキャンプ座間所在の米陸軍工兵隊（JED）の支援を受けることにより、「米陸軍工兵隊日本地区司令官に対する表敬」及び「米陸軍工兵隊の概要及びウクライナ戦訓に係るブリーフィング」の場面において、ネイティブ英語の通訳を経験することができ、効果的な訓練となった。

加えて米陸軍工兵隊との昼食会を開催し、通訳業務以外の場面において、英語による日常的なコミュニケーション能力を向上させる良い機会になった。

2日目はTOEICを受験し、これまで培った英語学習の成果を確認することができた。また部隊としても、部隊の英語能力を把握することができた。

被教育者からは「実際に英語を使う場面を想定した訓練は緊張感もあり有意義だった」「自身の課題を再確認でき、今後の修学意欲が向上した」との声が聞かれた。限られた期間ではあったが、施設団は国際平和の国際舞台で活躍できる隊員を育成するべく、今後も部隊の英語能力の向上に取り組んでいく。

# 地域の職場体験を支援

## 自衛隊の魅力広める

施設団は8月1日、5日、7日、21日、22日及び28日、古河駐屯地において地域の小・中学校及び高校の学生、計約80人に対して職場体験を支援した。

本支援の目的は、学生



自衛隊の概要説明



救急法の体験

参加者からは「一つ一つの説明が丁寧で分かりやすく、分からないところがあっても、すぐに教えてくれて良かった。」と、嬉しい声を多く聞かされた。

施設団はこれからも学校等に対する職場体験を支援して、自衛隊の魅力を広めていく。

服や制服等の普段着ることができない被覆類の試着、ロープワークや救急法等の実生活でも役立つ技術の体験をしてもらった。

また隊員食堂において体験喫食を実施し、隊員が普段食べている食事の質の高さを実感してもらった。

配膳から食器の回収までの一連の流れも体験してもらった。

また隊員食堂において体験喫食を実施し、隊員が普段食べている食事の質の高さを実感してもらった。

# 納涼大会を盛大に開催

## 地域住民との親睦を深める

施設団は7月24日、古河駐屯地において納涼大会を実施した。

納涼大会は地域住民との親睦を深め、駐屯地に対する理解と信頼関係を醸成するとともに、隊員・家族の融和と団結の促進を図る目的で開催された。

当日は16時30分から駐屯地を一般開放し、多数の来場者が訪れた。

16軒の野外売店、子ども用広場等の設置や、近隣高校生による軽音楽演奏、ダンス披露及び絵画等の文化展示、古河市和太鼓保存会による太鼓演奏、招待歌手による歌謡ショー等、各種のアトラクションにより、賑わいをみせた。

また古河市の観光大使である古河桃むすめが一日駐屯地司令を務めるとともに、近隣のゆるキャラである「ごかりん」「サイカイチー」「ゆきとのくん」が参加した。

大会の最後には、櫓を囲んで盆踊り大会を実施し、自衛隊と地域住民が一体となって踊った。



ゆるキャラとのじゃんけん大会



地域住民との盆踊り

今回の納涼大会も、地域住民との親睦を深める貴重な機会となったほか、隊員らも家族を招待して、家族との融和と団結を促進する良い機会となった。

関東補給処

# 第7代最先任が着任

## 川原准尉が決意表明

8月1日付で関東処兼陸尉が着任した。最先任は8月5日に実施した着任行事の中で、



着任式で決意を表明する川原准尉

「後方支援なくして作戦は成り立たない。補給処なしでは戦えないという意識、誇りを持って指揮官を補佐し、准曹士の育成に心血を注ぎ、自分の責務を全うする」と力強く決意を表明した。

同日行われた各部及び各支処等の先任上級曹長との会合では、自

# 土浦キララまつりに参加

霞ヶ浦駐屯地に所在する隊員で編成された霞ヶ浦自衛隊かっぱ連は、8月2日に土浦駅前周辺で実施された土浦キララまつりに参加した。

約6年ぶりの参加となったが、長い歴史と伝統を持つ「かっぱ音頭」で、たぐさんの企業や団体が参加する中、最後の大トリを務めた。

会場は熱気であふれ、霞ヶ浦自衛隊かっぱ連は本まつりの盛會に寄与した。



かっぱ音頭を踊る隊員

己紹介も兼ねて今後のビジョンについて認識の統一及び意見交換を実施した。

特に准曹士の隊員との連携に触れ一部隊の垣根を越えてお互い信頼し、助け合い、知恵を絞る協力と信頼の上であらゆる困難を乗り越えていく」と力強く述べた。

# 佐賀駐屯地へ初出荷

## V-22の安定的な運用へ

関東処航空部は8月1日、佐賀駐屯地へ移駐し、給品を初出荷した。



初集荷を見送る隊員

輸送航空隊は8月中旬を目途に、暫定配備されていた木更津駐屯地から佐賀駐屯地への移駐を行っていた。輸送航空隊の佐賀駐屯地への移駐完了後、航空部が保管している整備用部品及び器材の一部を8月下旬以降に輸送航空隊が受領できるように出荷したものである。

航空部は本年4月以降、輸送航空隊及び補給統制本部と連携を図りながら出荷準備を進め、初出荷の8月1日から9月下旬にかけて順次発送を実施した。航空部は引き続き輸送航空隊の運用基盤の維持に貢献する。

# 駐屯地納涼大会を開催

## 近隣住民との連携強化へ



自由音頭を踊る様子 添えた。

霞ヶ浦駐屯地は7月25日、駐屯地において納涼大会を実施した。

隊員家族及び多くの地域住民が来隊し、にぎわいを見せた。

大会では駐屯地司令並びに来賓のあいさつの後、近隣の学生によるイベントが行われた。

歌唱・書道パフォーマンス・よさこい演舞の順で披露され、最後は会場にいる全員で自由に踊る自由踊りで盛り上がりを見せ、地域住民との交流を図った。

大会のフィナーレには花火が打ち上げられ、霞ヶ浦の夜空に彩を添えた。

東部方面混成団

# 夏祭りに彩り咲かす

## 朝霞市民まつりに参加

女性自衛官教育隊は8月1日から3日の間、朝霞市で開催された「朝霞市民まつり彩夏祭」に、朝霞自衛隊連として参加した。

彩夏祭は来場者数延べ73万人を誇る埼玉県の代表的な祭りで、女教育隊からは例年陸曹候補生課程の隊員を中心に参加しており、今年度は約300人の陸曹候補生が参加し、彩夏祭の主要プログラムである「関八州よさこいフェスタ」にて演舞を披露した。

隊員は軽快に鳴子を打ち鳴らし、力強く明るい「ソイヤー」の掛け声とともによさこいを踊り、その麗しい笑顔で地域と一体になって夏祭りに華を咲かせた。

よさこいを通じて団結をさらに強固なものにした隊員は、今後の教育訓練においても互いを助け合い、課程教育をやり遂げるだろう。



一糸乱れぬ踊りで鳴子を打ち鳴らす女性隊員



華やかに演舞する女性隊員

「ソイヤー」の掛け声とともによさこいを踊り、その麗しい笑顔で地域と一体になって夏祭りに華を咲かせた。

# 混成団CSM交代へ

## 受け継がれる意志

混成団は7月31日、団員としての育成に尽力し、最先任上級曹長交代式を実施し、山口准尉から朝霞准尉へと任務が引き継がれた。

前最先任の山口准尉はその優れた指導力と温情あふれる人柄をもって、

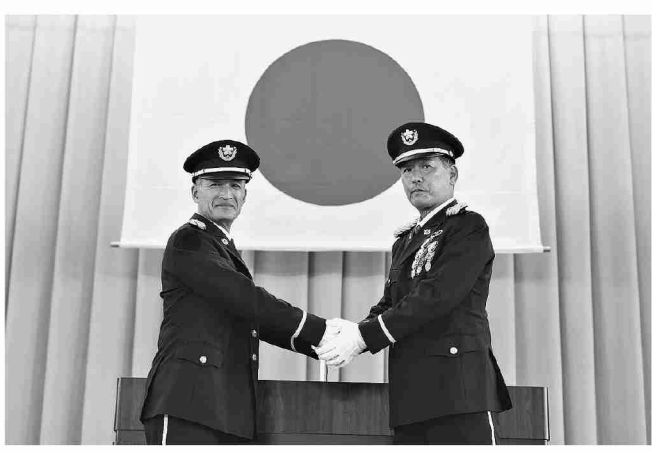
# 西田副団長着任

## 教育のメツカ武山へ

真夏の陽射しに迎えられた8月1日、東部方面総監部から混成団副団長に西田健一等陸佐が着任した。西田1佐は平成7年に第21普通科連隊へ配属後、第26普通科連隊長、北方総監部総務部長などを歴任し第9代混成団副団長に任命された。



着任した西田副団長



交代式にて握手を交わす朝倉准尉(左)と山口准尉(右)

# 総監部人事部募集課 募集ニュース

## 陸海空自EXPO2025を開催

方面隊は8月5日から7日の3日間、サマキヤン企画の一つとして、これから就活を控えている大学生(1~3学年)等を対象とした「陸海空自EXPO2025」を実施した。

本事業は朝霞駐屯地、横須賀基地、入間基地の各部隊で職業体験や体験試乗、装備品展示、ハイレベルリクルータとの懇談を実施し、自衛隊の仕事の多様性や幹部自衛官の魅力などを訴求することも、自衛官を職業選択の

一つとして認知を促すことを目的として実施し、昨年の約2倍となる延べ133人の学生が参加した。

朝霞駐屯地ではCH-47による体験搭乗や編隊走行による没入型体験試乗、横須賀基地では護衛艦「あまぎ」の艦艇見学、入間基地では修武台記念館見学や最新のC-2輸送機を含めた装備品展示をそれぞれ実施し、展示をそれぞれ実施し、陸海空の魅力を感じさせる一方で、説明を行った隊員との懇談を通じて、

自衛隊の実情に関する理解の促進を図ることができた。

特に東部方面総監部幕僚長 坂田陸将補及び入間基地司令 杉山中将補とのハイレベルリクルータ懇談においては、幹部自衛官のキャリアパスを紹介するだけでなく、自衛隊の職業の幅の広さを知ることができ、職業選択肢の一つにすることができた。

参加者からは「普段経験することができた充実の3日間だった」「自衛隊の職業の幅の広さを知ることができ、職業選択肢の一つにすることができた」との声が聞かれ、幹部自衛官としての将来像を思い描く良い機会となった。

# 川野前副団長勇退へ

混成団は7月31日、第8代混成団副団長、川野将補の退官行事を実施した。見送りは混成団本部及び在武山駐屯地隷下の部隊である第31普通科連隊と第117教育大隊等の隊員達が営門まで長い列を作り、盛大に見送りが行われた。

川野将補は平成3年第2高射特科群へ配属され、第8高射特科群長や福島地方協力本部長などを歴任し、35年有余の自衛官人生を全うして勇退した。

川野 静生(かわの しずお)・宮崎県出身・第90期幹部候補生(防大34期)



記念撮影を行う川野将補と庶務陸曹

東部方面混成団 公式Xはこちら!

陸上自衛隊【東部方面混成団】公式 @EACB\_takeyama

たくさんのフォローお待ちしています!

31普通科 48普通科



総監部幕僚長懇談 (朝霞)



没入型体験試乗 (朝霞)



CH-47体験搭乗 (朝霞)



護衛艦「あまぎ」艦艇見学 (横須賀)



入間基地司令懇談 (入間)

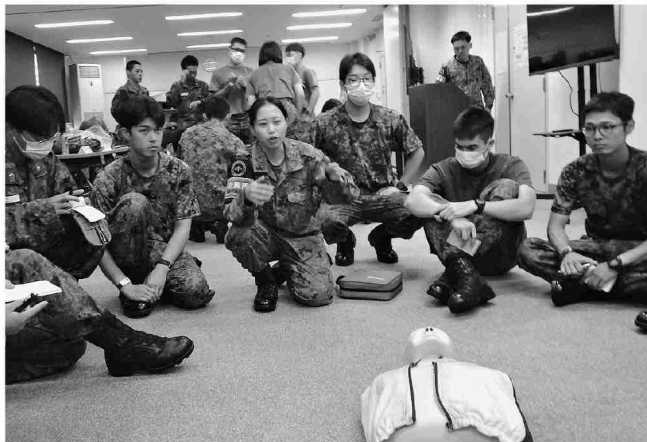


航空機部隊見学 (入間)

### 衛生隊

## 即戦力となる救護員を育成

### 衛生科隊員としての知識・技能習得



実習課題（心肺蘇生法）

東部方面衛生隊新隊員教育隊は7月1日から9月11日までの間、66人の新隊員に対し、新隊員特設課程及び一般陸曹候補生課程後期教育「衛生」を実施した。

教育は教育訓練と服務指導の両立、ハラスメントの防止、熱中症等に係る万全の安全管理、救護態勢を確立することを前提として、衛生科隊員として必要な知識・技能の修得及び資質の涵養を目的に衛生の基礎となる解剖生理学等の座学、心肺

蘇生法等の実習、第一線救護等の野外訓練を行うとともに、教育期間の終盤には実弾射撃訓練、総合訓練、修了試験を実施し、中隊救護員及び衛生科隊員としての行動を習得させた。

新隊員は酷暑の中、同期とともに切磋琢磨し、一丸となって教育に臨み、教育修了後、部隊の即戦力となるべく、衛生科隊員として救護支援を行っていく。

教育隊指導部は新隊員が配属部隊において各種作戦基盤の確立の一助になるよう、粉砕碎身の思いで教育を実施し教育目標を達成した。

### 2高群

## 伝統の襷をつなぐ

### 第50回富士登山駅伝競走大会



目標達成のため激走する2高群の選手

第2高射科群は8月3日に開催された第50回富士登山駅伝競走大会に「松戸2高群」として参加し、酷暑の中、世界一過酷といわれる本登山駅伝において選手たちは激走した。

今年度は昨年成果「自衛隊の部18位以上」を目標に4週間という限られた練習期間の中で、選手一人一人が高い目標を持ち技術的かつ計画的に練成した結果、自衛隊の部26チーム中14位という成績を残すことができた。

これは平成18年、平成19年、平成20年に並ぶ高成績である。持統走訓練隊監督（兼選手）の名嘉真曹長は大会を振り返り「無事大会を終え、先輩方が築いてきた伝統の襷をつなげることができ安心していきます。来年は2高群として出場30回目の節目となる大会なので、この伝統の襷をこれからも継承していくため更に頑張りたい」と語った。

2高群は本大会を通じて隊員相互の士気の高揚及び団結の強化を図り、強靱な東部方面隊の創造に寄与するため、日々の訓練に邁進する所存である。

### 後支隊

## 硫黄島で不発弾

### 約1万4千発を爆破処理



不発弾処理任務

東部方面後方支援隊第102不発弾処理隊は6月23日から7月3日の間、東京都小笠原村硫黄

島において厚生労働省が実施する硫黄島戦没者遺骨収集事業を支援した。本支援では島内での掘

削や壕内の調査等における過程で発見された不発弾等を迅速かつ正確に識別するとともに、現地に

おいて約1万4千発の爆破処理を実施し、本事業に対する支援任務を完了した。この間、厚生労働省及び海上自衛隊との綿密な調整を実施し、万全の安全管理態勢を確立し、整齊円滑な任務遂行に留意した。



重機を使用した不発弾の収集作業

参加した第102不発弾処理隊の澤入2曹は、「今回は不発弾処理業務のみでなく、重機のオペレーターとして爆破処分場の構築作業も行った。操作技術が未熟だったが、先輩方の動作を見て学ぶとともに、操作のコツを教わり、自身の操作技術の向上に繋げることができた。今後は後輩隊員へ技術を継承できるように自学研鑽に励み、常に練度の維持・向上に努めていきたい」と所感を述べた。



野沢航空隊長着任式

### 航空隊

## 東部方面航空隊長に

### 野沢1佐が着任

8月1日、東部方面航空隊長着任式を挙行了。第32代航空隊長兼第27代駐屯地司令には前神

町駐屯地業務隊長 野沢1佐が着任した。野沢航空隊長は着任の辞において「約30年前、幹部候補生学校を卒業して、真っ先に勤務したのがこの東部方面航空隊です。この約30年間で、世界は大きく変わりました。日本周辺の安全保障環境も大きく変化し、この間、防衛庁は防衛省となり、陸上自衛隊・陸上航空も大きくその姿を変えてきました。しかしながら、首都防衛を担う東部方面隊・東部方面航空隊の重い責任には何ら変化はありません。私は、与えられた

任務・使命は、必ず全うする覚悟で今日を迎えました。統率方針は「使命必遂」とします。使命必遂のためには、私も含め、皆さん一人一人の成長が不可欠です。要事項は「1日1歩、1日1歩」ですので、共に成長していきましょ。最後に、前佐藤航空隊長、そして

私は6月から9月までの間、会計隊新隊員教育隊隊長として朝霞駐屯地で勤務しております。教育を修了した新隊員は各駐屯地に所在する会計学校会計課及び北方会計隊で勤務する予定です。今回初めて教育に携わり、自衛官となってまだ数ヶ月しか経過してはいない新隊員に対して教育を実施することの難しさを肌で感じることもできました。また教育者である我々が隊員一人一人から「皆さんのことを学ばさず、自衛官としても人として多くの気付きを得ることができたことが、私にとって何よりの収穫

だったので感じています。部隊に配置された新隊員は、1人1台の机とパソコンが与えられ、会計業務を実施することになります。即戦力として一日も早く部隊に貢献したいと責任感旺盛に語ってくれた隊員も散見されました。私としては後期教育でまず会計科隊員としての基礎を学び、部隊配置後に、彼らが解放つエネルギーで、新しい風になってもらえればうれしいと伝えました。言うならば、即戦力ではなく率先力！です。教育期間中に彼らから私が見た気が付き、学びと同様に、配属後の部隊でも必ず良い影響を与えてくれると確

信しております。会計法規等の基礎的事項の教育に加え、補給管理システムの実習にも力を注ぎました。新隊員への会計隊長要事項である「陸上自衛隊の会計科隊員であることを自覚せよ」の言葉のもと、座学中心の教育ではありませんが、終始積極的に教育に邁進できるよう教育基盤を整え、できる限り細やかな身上把握と親身な指導を心掛けました。そしてもう一つの要事項である「同期の絆を深めよ」を受け、小職からも新隊員には同期に対し思いやりの心をもって接するよう指導してまいりました。今後、各会計隊等に配置された新隊員が大いに挑戦し、失敗を糧にして成長していくことを教育に携わった人間として心から期待しています。今回、区隊長として教育する機会を与えていただいたことに感謝するとともに、本教育隊での勤務を自信に変え、原隊において更なる戦力発揮ができるよう職務に邁進していきます。

### 訓練所感

東部方面会計隊 第431会計隊 秋山広明 准陸尉



新隊員教育隊に参加して

それ以前の隊長が脈々と築きあげて下さった東部方面航空隊を、更に高みに上げるべく全力を尽くすことを誓います。」と着任の辞を述べた。

また7月31日、航空隊長離任式を執り行った。第31代航空隊長兼第26代駐屯地司令 佐藤1佐は令和4年12月着任以来「プ

茨城地本

見て・触れて・喋る  
サテライトブース開設

自衛隊茨城地方協力本部は7月1日から5日までの間、JR水戸駅において臨時サテライトブースを開設した。サテライトブース開設に当たり、関東補給処と東部方面後方支援隊、海上自衛隊から第4航空群第4整備補給隊、航空自衛隊から第7航空団と百里救難隊のリクルーター支援を受けた。

2日目の海上自衛隊の日は、色とりどりの紐を使った組紐体験や海上自衛隊砕氷艦「しらせ」が持ち帰った南極の水が展示された。特に南極の水は手で触れることで氷が解け、閉じ込められた気泡がはじける感覚を直接手の平で感じられ、来場者はその感触に驚いていた。

4日目の女性自衛官の日は、前日までと雰囲気が変わり、女性自衛官のみでブースが構成された。来場者も必然と女性が多くなり、男性自衛官では伝えられない自衛隊の魅力が伝えることができた。さらに茨城県出身の自衛隊隊病院院長の内藤隆将補がブースを訪れ、来場者と交流した。

5日目の混成の日では、陸海空自衛官がそれぞれの立場で自衛隊をPRした。来場者の中には、初日から最終日まで連日訪れてくれた方もおり、サテライトブースは大盛況のうちに幕を下ろした。

茨城地本はこれからも地域に密着した広報を実施して、引き続き一人でも多くの方々に自衛隊に対する理解を深めていく。良く、いろいろなことができる環境」と、笑顔で答えた。

静岡地本は今後も、他機関と協力して説明会を実施し、職業選択肢の一つとして自衛隊を伝えてもらえるよう魅力を伝えていく。

静岡地本

公安系4機関の職業説明会  
自衛隊・警察・消防・海保が一堂に

自衛隊静岡地方協力本部は7月12日・13日及び19日・20日、公安系4機関合同職業説明会を開催した。

これは自衛隊、警察、消防、海上保安庁が一堂に会して行う職業説明会で、7月12、13日は静岡市消防局（静岡市）、19日は沼津市民文化センター（沼津市）、20日は浜松合同庁舎（浜松市）で開催した。

生や大学生に仕事内容などを説明する中で、自衛隊は陸海空自衛官による個別説明コーナーを設け、多様な働き方や職種、陸海空の違い、実際に働いている隊員の声などを紹介した。

また同説明会初の試みとして、別室に女性専用相談スペースを設置して、各機関の女性担当者が来場者と机を囲み、和やかな懇談形式で質問に答えた。

自衛隊志望者からは「集

神奈川地本

神奈川総合産業高校で  
自衛隊の魅力を紹介

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所は7月4日、神奈川県立神奈川総合産業高等学校で行われた職業人ガイダンスに参加した。

このガイダンスは同校本部署相模原地域事務所は7月4日、神奈川県立神奈川総合産業高等学校で行われた職業人ガイダンスに参加した。

で、地域のさまざまな業界で働く社会人が講師となり、それぞれの職業の特性や、働く上での心構えなどを生徒に直接伝えることを目的としている。

今回のガイダンスは同校本部署相模原地域事務所は7月4日、神奈川県立神奈川総合産業高等学校で行われた職業人ガイダンスに参加した。

栃木地本

県最大級の祭り  
ふるさと宮まつりを支援

自衛隊栃木地方協力本部は8月2日、3日の両日、宇都宮市内の大通りで開催された第50回ふるさと宮まつりを支援した。

また日中催事が行われているオリオンスクエアの一角では、募集説明ブースのほか、南極の氷の展示や帽子の試着などを行い、多くの来場者に入気を博していた。

ある！ある！自衛隊



戦闘糧食の展示



初設置した女性専用相談スペース



講師として参加した広報官 飯干 2 曹

自衛隊からは同校を担当する広報官 飯干 2 曹が講師を務め、3クラス計35人の生徒に対し講話を行った。内容は自衛隊の任務や災害派遣などの活動をはじめ、採用制度、処遇、福利厚生に至るまで多岐にわたった。

相模原地域事務所は今後も、自衛隊への理解が深まるよう、学校との連携を強化していく。

また日中催事が行われているオリオンスクエアの一角では、募集説明ブースのほか、南極の氷の展示や帽子の試着などを行い、多くの来場者に入気を博していた。



みこしの担ぎ手として参加した隊員

# 最先任 上級曹長

## 「不易流行」 第1後方支援連隊 大関 正樹 准陸尉

令和5年8月より、第1後方支援連隊最先任上級曹長を拝命しております。大関准尉です。

衛生科といった多様な職種で編成され、さらに東京・埼玉・静岡の5個駐屯地に分散して配置されています。このような特色を持つ部隊の最先任上級曹長として勤務できることは、大きな誇りであり、責任の重さを実感しております。



士気、敬礼や伝統などが挙げられます。一方で「流行」としては、新装備品の導入や整備要領の改正、規則の改正、指導方法の工夫、ワーク・ライフ・バランスやWPS(女性・平和・安全保障)等の働き方改革への取り組み、業務の効率化などが挙げられます。これらを明確に理解し、守るべきものと変化を受け入れるべきものを見極め、実践することが重要です。

また昨今の環境下では、敵の情報・監視・偵察活動を前提とした新たな戦い方が求められています。しかし、ここで改めて強調したいのは、これまで積み重ねてきた基本や基礎動作こそが「不易」であり、むしろ今以上に重視されているということです。

それぞれの部隊、職種、所在駐屯地において「不易流行」を体現し、連隊長が掲げる「力の結集」を実現することで、師団の任務の完遂につなげることを目指します。最先任上級曹長として、その一翼を担えるよう、引き続き全力を尽くしてまいります。

まず初めに、昼夜を問わず、我々国民の安全・安心を守って下さる自衛隊の皆様、心より感謝を申し上げます。

オピニオンリーダーの

### オピニオン 一言上げる

東方オピニオンリーダー会  
市川 眞幸



研修において印象に残っている事柄の一つに、富士近迫射撃研修での大型トラックによる移動体験がありました。演習場内の悪路を走行する乗り心地たるや何とも言えないもので、引率の隊員さん「災害派遣の際もこのトラックで移動されていくのでは」と思いました。

別時の研修にて、災害派遣時は、被災者の方々に「お風呂や温かい食事を提供するも、隊員各位はタオルで身体を拭き、食事は携行食」という実情もお聞きしております。微力ながら、防衛思想の普及と啓発に努めてまいります。

終わりに、隊員各位に謹んで敬意を表し、結びとさせていただきます。

第1後方支援連隊は、師団の兵站・衛生支援を担うという任務上の特性から、武器科、システム通信科、需品科、輸送科、

私がお仕事に携わっていること、一つに「不易流行」があります。これは松尾苗穂が「奥の細道」の旅を通じて体得した理念であり、不易とは変わらぬ本質、流行とは時代に合わせた変化を指します。つまり「変わらないものを守りつつ、新たな変化を柔軟に取り入れる」ということです。

我々の勤務において「不易」の一例を挙げれば、サービスの本質や自衛官としての心構え、団結・規律・

「不易流行」を体現し、連隊長が掲げる「力の結集」を実現することで、師団の任務の完遂につなげることを目指します。最先任上級曹長として、その一翼を担えるよう、引き続き全力を尽くしてまいります。

オピニオンリーダーの

「率先垂範」を体現できるような幹部自衛官を目指し、各種入校や部隊での訓練に励んでいきたいと思っております。またレンジャー隊員、スキー指導官、冬季遊撃隊員として自己の職能を維持・向上し続けるとともに、後輩隊員の育成、部隊の精進化に貢献していきたいです。

員各位の姿を思い浮かべ、その献身的で崇高な使命感に対し、改めて感謝の念を強くなる一場面となりました。

自身の任期も最終年度を迎えましたが、こうした報道等ではあまり取り上げられない情報をお伝えしていくことも、オピニオンの一ターの一つの責務と考え、今後も協力団体での活動と併せ、微力ながら、防衛思想の普及と啓発に努めてまいります。

# フルカラー

## 「いつも笑顔で前向きに」 東方面システム通信群本部中隊 小柳 早 陸士長



今月のフェアレディーは、東方面システム通信群本部中隊で映像写真小隊写真班に所属している小柳早陸士長です。

「自分のモットーは『スマイル！』です。どんなに忙しくても笑顔でいることを心がけています」と話す小柳士長は、新潟県新潟市出身で小中高校と9年間バスケットボール部に所属し、ポジションはフォワードでキャプテンを務めていました。

Q 入隊の動機は？  
私の父親が自衛官であり、幼いころから父親の姿を見て自衛隊に興味を持っていました。またテレビで女性自衛官が災害派遣で活躍している姿を見たことが印象に残り、その姿に感銘を受け入隊しました。

Q 現在の職種を希望した理由は？  
通信科は他職種より女性隊員の多い職種なので、入隊動機でもある活躍する女性の先輩が多く居て、働き甲斐ある職種だと思い希望しました。

Q 普段行っている業務とその業務の魅力は？  
写真班で部隊の行動記録やポートレート写真を撮っています。私自身が撮影した写真が直接多くの人の目に留まり、被写体を通してメッセージを伝えられ、多くの人に元氣や笑顔を与えることができるのが魅力です。

Q 趣味は？  
推し(Daice)のライブに行くことです。初めてライブに行った時、会場に入った瞬間から胸がワクワクし、ステージに現れたアーティストの歌声は想像以上に迫力があり、涙が出そうになりました。さらに顔がイケメンで優しい笑顔

も素敵で推し活中です。休日は何をして過ごしていますか？  
友人と時には一人で、おいしいカフェやテイクアウトのために都内でカフェ巡りをしています。

Q 最後に一言  
私が撮影した映像や写真を通じて、各部隊が任務を遂行する姿や自衛隊の魅力により多くの人に届け、笑顔と感動を与えられるよう、これからも努力していきます。

今月の東方男児は、第12偵察戦闘大隊偵察中隊 櫻本曹長です。

岐阜県出身の27歳で、現在は幹部候補生に指定され、偵察中隊で勤務しています。

Q 自衛隊に入隊したきっかけは？  
小・中学校の頃、岐阜基地の航空祭に連れて行ってもらったのをきっかけに自衛隊に興味を持ちました。

Q 今後の目標は？  
富士総合野営訓練で、斥候訓練を経験して楽しさややりがいを感じたことと、仕事でバイクに乗れるということに機甲科の偵察部隊を希望しました。

Q 休日の過ごし方は？  
現在は車一台、バイク2台を保有しており、ドライブやツーリングをしながらの外出、観光を楽しんでいます。またクラシックやスキーなどの戦技に繋がるアウトドアも同様と楽しんでいきます。

Q 今後の目標は？  
「率先垂範」を体現できるような幹部自衛官を目指し、各種入校や部隊での訓練に励んでいきたいと思っております。またレンジャー隊員、スキー指導官、冬季遊撃隊員として自己の職能を維持・向上し続けるとともに、後輩隊員の育成、部隊の精進化に貢献していきたいです。

「率先垂範」を体現できるような幹部自衛官を目指し、各種入校や部隊での訓練に励んでいきたいと思っております。またレンジャー隊員、スキー指導官、冬季遊撃隊員として自己の職能を維持・向上し続けるとともに、後輩隊員の育成、部隊の精進化に貢献していきたいです。

「率先垂範」を体現できるような幹部自衛官を目指し、各種入校や部隊での訓練に励んでいきたいと思っております。またレンジャー隊員、スキー指導官、冬季遊撃隊員として自己の職能を維持・向上し続けるとともに、後輩隊員の育成、部隊の精進化に貢献していきたいです。

Q 今後の目標は？  
「率先垂範」を体現できるような幹部自衛官を目指し、各種入校や部隊での訓練に励んでいきたいと思っております。またレンジャー隊員、スキー指導官、冬季遊撃隊員として自己の職能を維持・向上し続けるとともに、後輩隊員の育成、部隊の精進化に貢献していきたいです。

### 東方男児 「挑戦」 第12偵察戦闘大隊偵察中隊 櫻本 凌斗 陸曹長



Q 最後に一言  
私はさまざまな教育に参加させてもらい、スキー指導官、遊撃隊員、幹部候補生となっておりますが、その原動力は「面白そう」です。自分ができる、できないではなく興味を持った方に進んだ結果、今の自分になりました。

今後も、自分なりの楽しさを見つけてやっていきたいです。

「率先垂範」を体現できるような幹部自衛官を目指し、各種入校や部隊での訓練に励んでいきたいと思っております。またレンジャー隊員、スキー指導官、冬季遊撃隊員として自己の職能を維持・向上し続けるとともに、後輩隊員の育成、部隊の精進化に貢献していきたいです。

### 編集後記

2016年に連載を開始して以来、未だ熱く冷めやらぬアニマが最終編の第一章を映画化して再び現れた。鬼化した妹を救うため、世の平和を守るために刀を携えた隊士が鬼を倒すストーリーで、数多の人の虜にしているあの漫画であるが、なぜこんなにも人気がなのか、2019年のテレビ放送開始から2年遅れてこの物語に取り込まれた私が考えるその理由について今回は話をしたい。

まず、シンプルかつ王道の「正義が悪を倒す」というストーリー展開、そして主人公の優しさ、誠実謙虚な姿、向上心や不屈の精神力にファンが自身もそうありたいと重ねる。更には家族愛や兄妹愛、友情という普遍的テーマをシリアスに時にコミカルに、主人公を包む魅力的な登場人物と兵に描く処には、隊士にも鬼にも必ず人生の背景や生き様が存在し、苦悩や成長がファンの視線に惹く触れる。また型、呼吸や重心、闘志や無心といった剣技の要素が随所に練められコア層を陶酔する。と挙げればきりが無いが、儂く脆い人間だからこそ生命の尊さ、尊敬や感謝の心を忘れずに生き抜くことの大切さをこの名高い物語は認めているのではないかと私は思う。

歴代興行収入一位も時間の問題であろう。